

統計

●英國に於ける破彈及ひ銃砲の製作高 開戦

以來英國に於ける軍器の製作高は甚たしく増加せり。砲兵の使用する兵器に於て開戦當時より一九一五年七月一日に至るまでの一週間の平均製作高を基とする時は其後の製作高増加率は次表に示すか如し。

	一九一五年六月三十日(一週間の平均)	一九一六年六月一日(一週間の平均)	一九一六年七月一日(一週間の平均)	一九一六年十一月二十五日(一週間の平均)
十八封度砲を發射する砲	一	六・五	一七・五	四三
野砲(四・五吋)	一	八・〇	二七・〇	四五
中銃及ひ曲射砲(榴彈砲)	一	七・五	三四・五	六六
重砲(六吋以上)	一	二二・〇	九四・〇	三二三

一九一六年十一月十九日より二十六日に至る一週間内に完成せる砲彈又は充填せる砲彈は戦争開始當時有したるものより超過する事三〇パーセント以上なりき。銃砲の製作高増加率を上述と同様の方法によりて示せば左の如し。

	戦争第一年	戦争第二年	一九一六年八月より十一月(四ヶ月間)
十八封度砲發射砲	一〇〇	二四〇	四五
四・五吋砲	一〇〇	六五四	一〇四
六〇封度砲發射砲及ひ六吋砲	一〇〇	一八四八	一二〇〇
重砲(六吋以上)	一〇〇	六二三	三六三

英國軍の使用する野戦砲は完備したるを以て前季に於け

る十八封度砲の製作は少數となりたり。今すへての砲の製作高につき第一年と第二年を比較すれば次の如し。

	第一年の一ヶ月平均	一九一六年十二月二日に至る五ヶ月間の製作高
十八封度砲	一〇〇	一三八
中砲	一〇〇	四、一〇〇
重砲	一〇〇	一、三五〇

上記の内四、五吋砲は已に供給了りたればこれを含まず、機關砲は戦争第一年に供給したるものを一〇〇とすれば第二年の終りに於けるものは一二五〇、一九一六年十二月二日に至るものは二〇〇〇となるへし。今一九一五年十一月中に於ける一週間内の機關砲製作高を表はすに一〇〇を以てすれば同しく一九一六年十一月の一週間平均は四一〇となる。

一九一五年六月中の一週間に製作せられたる小銃を一〇〇とすれば一九一六年七月中に於けるものは一六〇、同じく十一月は一七三となる、而して修繕をなし戦地に送還したるものは新に製作したるものと略々同數なり。

●獨逸製鋼の積出減少 獨逸の鋼の積出は漸次減少し一九一六年十一月中は僅かに二一二、六七五噸となり

一九一四年八月以來の最低記録なり。而して一九一六年十月及九月に於ける積出高は夫々二三〇、五四四噸及ひ二四四、二一二噸なりき。十一中の積出は次の如し。

型	鐵道材料	鋼
半仕上鋼	六七、八八〇噸	
鐵道材料	八二、〇九九噸	
鋼	六二、六九六噸	

因に一九一五年十一月中の積出高は二四一、七五〇噸なりき。

●米國に於ける滿俺鐵產額の新記録 一九一六年中米國に於ける高級滿俺鐵の產額は凡そ二七、〇〇〇噸 (U. S. Geological Survey of D. F. Hewett 氏の見積による) にて一八八八年以來の最高記録なり。

而してこの内には滿俺鐵鑛石は含まざるものとす。

一九一六年十月末に至る十ヶ月間に輸入せられたる滿俺鐵四九五、二九九噸の内四一〇、一七七噸はブラヂリより輸入したるものなり。一九一六年の總輸入高は恐らくは一九一五年中の二倍即ち三二〇、七七八噸の二倍に達すへしと觀測せらる。(The Iron Age, Jan. 25, 1917)

●米國に於ける十二月中の滿俺鐵輸入 一九一六年十二月中米國に輸入せられたる滿俺鐵は十一月中の七九一四噸に對し四四〇一噸なりき。而して十二月中の輸入高は一九一五年の一ヶ月平均四六〇〇噸にも及はざりき。

一九一六年に於ける最高輸入高は九月に於ける九七八七噸にして一九一六年の一ヶ年の合計は七七、六三六噸となり戦争前の普通の年に比し約七七パーセントに當る。十二月中輸入高を内譯すれば次の如し。

二、七八九噸——フキラデルファイヤより。
八一〇噸——ニューオルレアンスより。
六六七噸——バルチモアより。

一三五噸——ニューボート、ニユースより。

●米國に於ける軌條の輸出 一九一六年十一月一日に至る米國製軌條の輸出高は一九一三年の記録四六〇、五五三噸を超過して四九九、二二四噸に上れり。一九一六年十一月には五五、〇二二噸にして九月十月及び十一月を平均すれば一ヶ月六四、八一七噸なりき。而してこれより推測する時は一九一六年中の總輸出高は恐らく五五〇、〇〇〇噸となるへし。十二月一日に至る輸出高の内譯は次の如し。

露西亞向——一二二、二一九噸
西印度及バームダ——七七、八四二噸
加奈陀——三五、五七七噸

其他——二二一、三六五噸

軌條の輸入高は一年前に比し頗る減少せり。一九一六年十二月一日に至る十一ヶ月間の總計は僅かに二五、七七七噸にして一九一五年の七七、二四五噸に比すればその減少の甚しきを見る。(The Iron Age, Feb. 1, 1917)

●英國に於ける鐵鋼及機械類の輸出入高 (一九一六年十二月) 一九一六年十二月中及び一九一六年自一月至十二月英國に於ける鐵鋼其他の輸入高を一九一五年十二月及ひ一月より十二月の輸入高に比較すれば次の如し

	一九一五年十二月	一九一六年一月	一九一六年十二月	一九一六年一月
鐵 鑛(滿俺)	一三、一〇〇噸	四、〇〇〇噸	一三、一〇〇噸	四、〇〇〇噸
同(其他のもの)	五八、〇四七	三六、七五三	五八、〇四七	三六、七五三
銑 鐵(鹽基性)	四九三	二、八六六	四九三	二、八六六

銑鐵(鍛冶及鑄物用)	九、五〇	七、〇三	一〇四、一六七	一七、九〇九
同 (赤鐵鑄)	—	—	三六、一六二	一、九〇一
同 (其他)	一、六六二	一、九三三	一八、四八八	二六、四八八
鋼塊 其他	三三、〇九八	六、〇六九	四七、九六六	一四、四二一
米國より	一九、四四〇	四、四四七	三九、〇四六	一一、四九三
鐵棒アングル桿	四、五九六	三、一六〇	四、五九一	四、一六〇
瑞典より	二、九六〇	二、六五五	三、五、四〇〇	三、九五六
滿 俺 鑄	三九、三七一	一九、九〇五	一七、七三四	四九、五〇九
黃鐵鑄、鐵、銅	九五、三三五	七〇、七五〇	九〇、四六七	九五、二〇六
屑 鐵	九、三三〇	一、一八九	一三、三六三	九七、八五七
不良及中古軌條	—	—	四一八	九八九
鍊 鐵 棒	—	—	二七	五〇
粗製鐵鑄物及鑄造品	一六九	一三	一、六二三	一、〇八五
輪鐵及び帶鐵	五、四六五	一、五八八	六九、四三九	三、四四三
鍊 鐵 管	三、三三五	三、三三	四、四八八	三、〇九四
鑄 鐵 管	八三	一一三	三、三五五	三、〇〇八
八分一吋以上の鉄	一、四四七	一、四六八	一七、八二一	一、八五五
八分一吋以下の鉄	三、八〇八	一、六六六	一三、四六三	二六、七四五
電 信 線	三、六二二	三、六	四、〇四六	二九、二二〇
線 材	一〇、三四八	三、四六七	八五、七二三	七六、三六三
釘 材	五、〇四四	三、三五〇	五、一七四	六、五五三
釘螺旋及びリベット	二八二	六	七、五五三	五、八四四
ボールト及びナット	四七六	二九〇	六、六三二	五、七六七
軌 條	一、二八四	—	一五、六九五	五、二一六
鐵 道	一、一八九	—	二、二七七	二、九四七
電 氣 軌 道	三三	—	三、〇〇〇	一、一八〇
鐵道用車輪、外	一〇	三〇	一、一八	一〇九
輪、アクスル	一、八八五	四三八	三三、八六二	一三、三五二
鐵及鋼製品	二、一四九	一、五五四	一八、一八五	一七、九六三
鋼 塊	五、五八	三、五〇	一三、五六二	二、九六九
鋼 薄 板	八、四四五	四、八一	三、九〇四	八九、七三五
鋼棒、アングル、型鋼	五〇二	—	—	一、二九二
粗製鋼鑄物及鍛造品	—	—	—	—

統計

同じく輸出高は次表の如し

鋼ガーター、ビーム	四八〇	五	一、七九四	二、〇八六
ジョイストビラー	—	—	—	—
鹽基性鐵滓	七〇〇、八八	五〇、六七	五〇、六七	七、九九二、五七七
機 械 類	四、六二〇	八八、二〇	八八、二〇	五〇、三三二
原 動 機	二六、六八八	五、四九六	五、四九六	一、〇八三、四四
電 氣 機 械	七五、四六六	五、三五五	五、三五五	四九五、二六
農業用機械	一五、四五一	一七五、四三	一七五、四三	二、九二一、七四八
機 械 工 具	五、〇四七	二〇、〇六八	二〇、〇六八	一六〇、三三七
鑄 山 機 械	三、九三三	三、〇二四	三、〇二四	四三、三六〇
裁縫機械及部分品	二、八七四	一八、二二	一八、二二	二七八、二〇〇
紡 織 機 械	—	—	—	—
銑 鐵	七四、八九二	四八、五四	六二、三三七	九七、三九六
瑞 典	六、七七一	八二	八二、〇七	二五、六九四
和 蘭	一、五五五	五	二五、五〇五	九、九四五
佛 國	二九、一〇九	三三、三三	一四、五五	五五、五六〇
伊 太 利	一、八五五	六、二七七	一九、九〇	二八、三三九
日 本	六、三九〇	七五〇	六、三九〇	二四、四三八
米 國	七、六〇七	四、四六六	六、三五五	八、五八八
オーストリア	二五	五	一一、〇〇九	三、三三九
鹽基性鉄鐵	一〇	三	一、七七〇	一四、一四五
鍛造用及鑄造用	六八、六四四	一九、九七二	三三八、七六	四九、二七〇
ヘマタイト	二、五〇〇	二〇、四三	一六七、七九三	三六、六五〇
其他の鉄鐵	一三、七二八	八、一九三	一〇三、九六八	一七、三三一
軌 條 (新品)	九、九七七	二、三二七	二四三、二六七	五〇、二七五
鍊鐵(棒、桿、型物)	五、九六六	七、三三五	八四、四六	一三、七七九
英領南亞弗利加	一七	四四四	六、二一八	五、二六八
同 東印度	一、三四六	二、三〇〇	一五、九〇九	二、六〇八
オーストラリア	一、五八	一、〇八九	二、五五八	二、一四六
ニュージラランド	一、〇〇七	五五二	七、九〇〇	七、四九五
鑄 鐵 製 品	二、三三	一、七三九	四、三三一	三三、〇六三
鍊 鐵 製 品	二、八六	一、一五二	三、四七	二四、一五八

三八九

鋼板(亞鉛引 せざるもの)	鐵板	鐵	鋼	第參年	第參號
鐵板(亞鉛引せざるもの)	八、五四	一、三三	五、四三	一、三六、九三	六、三三
鐵力	三、四二	一、四、三四	三、六八、七八	三、二、七〇	六、〇〇六
鐵威	四、四〇	一、三三	三、八、五二〇	一、九、一五八	一、四八
佛國	五、六六	一、六九	五、九、七四	六、九、八八	五、〇七
支那	五、六四	七〇	九、三、五三	一、三、二五九	一、一、九七
日本	九、四八	二、六	二、〇、五五〇	一、四、七三三	一、一、五四
英領東印度	五、〇〇三	三、七三	四、七、五八	三、二、二六	二、二、七九
オーストラリア	三、八三九	八、三〇	四、一、四三	四、一、五三	二、八、二二
亞鉛引板及び波形	一、三、五〇〇	一、四、五五	二、六、四三	一、七、三三〇	三、〇、八六二
和蘭領東印度	一、〇七六	二、四	一、一、九四	五、八〇八	三、〇九
英領印度	二、一六八	六、三	六、四、〇五九	九、七〇七	六、七、一〇一
オーストラリア	三、七六三	二、〇三	六、二、二〇八	三、五、七四四	三、五
其他の輸出品					
鐵鑄	一、五八	二	一、六、六九	一、二、四三	一、六、五五、〇三九
其他の鑄石	一六	一、四	八、六	一、六、五	二、九、九、二五
屑鐵	五、四九	二、七六	五、〇、六三	六、一、六〇四	一、六、六、三
不良及び中古軌條	一、一〇六	一	五、四、四四	三、一、一六	一、五、六、六八
溝形軌條	六二	三	五、五、九七	九、九六	七、五、一四六
鍊鐵棒	一、四	一	一、六、二	一、一、〇	一、三、五、三
粗製鍛造品及鑄造製品	三、九五	四七	二、四、八〇	一、一、三八	八、四、二、七
鐵道材料	四、三九八	一、九一	五、六、八六	三、七、五八	一、三、五、六五
恒用針金	五、〇八	四、〇	一、三、六、二七	四、一、三八	九、九、七、〇〇
其他の針金(電信電話線を含む)	一、九二	一、〇五	二、三、三九七	三、〇、二九九	六、三、四、五三
ワイヤロープ	一、三三	一、四、九	一、五、四四	三、一、四四	三、四、四、五三
鐵條鋼	三、九	五、六	八、六、九三	二、九、三六	三、四、四、五三
針金製品	一、四〇	一、四、六	二、五、〇〇	二、五、〇〇	三、四、四、五三
針金製品(八分の一吋以上)	一、四、八六九	一、一、七〇	一、四、七、九三	二、七、五、五四	三、四、四、五三
針金製品(八分の一吋以下)	七、九七三	六、六、九四	九、八、〇七六	一、五、八、八〇八	二、八、二、二
甲鐵板	一	一	一八	二八	二八
輪鐵及帶鐵	四、五、一	五、三、七〇	四、八、一六六	六、五、八、四九	六、五、八、四九
鐵其他	一、六、九	一、五、九	一、七、〇五七	二、一、八、五五	二、一、八、五五
管其他					
鑄鐵管其他					
釘及リベット					
螺絲					
ボールト及ナット					
車輪、外輪、アクスル					
半製鑄塊					
バー、アングル、型鋼					
ガーダー、ビーム					
鋼製品					
粗製鑄物及鍛造品					
鹽基性鑄滓					
機械類					
原動機					
電氣機械					
農業用機械					
汽機					
機械工具					
裁縫機械同部分品					
鑄山機械					
紡績機械					

(The Ironmonger, Jan, 13, 1917.)

●輸出入貨物品別表(大藏省發行の大正六年一月外國貿易月表)
 (表中鐵及鋼に關するもの左表の如し)

第一 輸出貨物品別表

内國產品	大正六年一月		大正六年累計		大正五年一月累計	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
鐵塊及錠(斤)	一五、六二五	一、四一〇				
條竿及板(斤)	九七九、六七三	一六、三六四				
線索(斤)	三八四、一三八	九六、二九七				
筒及管(斤)	一、四〇三、五二一	一三九、九三八			四三七、三七三	四一、五三八
鐵鍋及鐵釜		一六、〇〇一				一〇、五五三
鐵製品	一一七、六〇〇	七七〇、六五四				三四七、三九二
人力車(輛)	七六六	二六、六三二			三四九	一三、七三三
船舶(汽船)	一八	七、三三三、五〇〇				
機械同部分品及附屬品		四七九、九五五				二五六、七四八
石炭(噸)	二、三九、八四五	一、二二六			二二二	三、九五四
石炭(噸)	五、六	一九一、〇五九			二六八、〇九四	一、七五三、六三〇

第二 輸入貨物品別表

外國產品	大正六年一月		大正六年累計		大正五年一月累計	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
鐵鑛(擔)	五三、一八五	二、三、九九八			五〇	一二七

外國產品	大正六年一月		大正六年累計		大正五年一月累計	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
銑鐵(斤)	一二,三三八,九五二	五〇五,四九七			一一,三九一,七五六	三三三,九一八
スビーゲルアイゼン(斤)					一六九,三四四	八,六〇九
フエロマンガニース(斤)					一六九,三四四	二〇,二三四
フエロシリコン及シリ	三五,二六六	九,九二			一四七,五七六	一九,一三四
コスビーゲルアイゼン(斤)					二二,一七八	一〇,四八三
フエロクロム其(斤)	八四七	三,〇〇一			三三,六七八	二,〇五一
他不可鍛性鐵合金(斤)					三〇〇	三三
インゴット及スラブ(斤)	六八八,九四一	一〇三,六四四				
ケツグ及バンブースチル(斤)						
條竿テールアンクル形鐵類(斤)	二二,〇九〇,〇三七	二,一〇四,一四三			一四,一二三,一九五	一四,一二三,一九五
ワイヤロッド(斤)	一,二〇四,九四七	一三八,五五四			五〇五,四一二	三一,四三三
板(金屬を鍍せざる)(斤)	二〇,四〇五,四〇九	二,三五二,二五七			二〇,三四九,六五三	一,三五四,五〇六
板(電鍍したる)(斤)	一四四,〇六〇	二二,六四二			一一,二五,三五三	一四〇,二六八
板(葉鐵葉鋼其他)(斤)	四,二二三,二一〇	七八一,六九四			三,七二一,七五三	四五九,六八三
線(金屬を鍍せざる)(斤)	二五二,八六〇	四〇,〇〇六			三三二,〇九六	三三,五〇七
線(電鍍したる)(斤)	一,三三七,九三四	二二二,八〇六			一一,四八,七〇一	一二六,二七四
屑鐵及故鐵(斤)	一六,八七四,一九九	四八一,四三三			一,三九六,一六九	五三,三九一
線索及撚合線(斤)	三二,九五六	七,七四五			三八,五七七	七,七五九
筒及管(斤)	三,〇二二,七〇九	四七五,九八八			一,三六二,四六二	一四〇,一一八

帶 及 箍(听)
 釘 類(リベツパイキ)
 鐵道建設材料(レール其他)
 電線支柱同部分品(並架用材料)
 家屋橋梁船舶等建設材料
 鐵道車輛及部分品
 自動車及部分品
 自轉車及部分品
 汽船(船齡十年以下)(隻)
 同(其他)(隻)
 汽罐同部分品及附屬品
 フューエルエコノマイザー(斤)
 蒸氣機關及スチームタービン
 瓦斯石油熱氣機關
 ウォータータービン及ベルトン水車
 發電機電動機類
 縫衣機
 金屬工及木工機械
 紡績機
 石炭コークス(コークス炭)(噸)

三六六、七四五	三一、三〇六	一七四、三七八	一三、三五八
二、八二三、三七三	四三八、六一三	四、四四五、二七二	四五三、四五五
一、三三七、四九四	一〇六、七七五		一八七
一三八、六八八	三一、七九九	三八、七三八	三、七三一
一五	一五六、五七〇	八二、八四九	一〇、五九六
一〇二	五四、六四三	二	二七、一二五
一	七、五八八	八五	二七、二五七
	四三七、三〇〇		四、四九〇
	七四、三三六		四三、五七四
	六〇、三三七	一二、九九七	一、三八九
一八九、三五一	九五九	二二、八九五	八四、二一五
五三四		九、四四五	三、七七〇
二九、七二四	二七、三二三	六八、二五三	四一、六四七
一二三、〇一〇	七二、三七七	三四、五二五	五四、三三三
二三四、一五六	一四八、八九一	五三、六〇二	一八三、二五七
一、一〇七、一五八	三三五、三七三	五三、九六〇	一三八、七五九
四五、五五三	四二、五九七	五九、五〇九	四五六、七四五

●大正五年十二月中本邦鐵及重要金屬並炭坑產額表（農商務省鑛山局調）

鐵の產出狀況

鑛山名	所在地	大正五年十二月	大正四年十二月
釜石	岩手（銑鋼）	三、五四五、三 ^{佛電}	二、二〇八、四 ^{佛電}
仙八	同（銑）	二、二一五、五	二、〇六四、五
栗木	同（銑）	三六〇、三	三三六、〇
		三、	一六三、二

重要金屬の產出狀況

重要金屬の名

金屬	大正五年十二月	大正四年十二月
金	一七八、四九七 ^友	二〇六、一九五 ^友
銀	四、四一一、七六一 ^友	三、八四三、三九八 ^友
銅	一二、九二六、六八八 ^友	一二、一五一、八七八 ^友

石炭の產出狀況

鑛山名	所在地	大正五年十二月	大正四年十二月
夕張	石狩	一二七、六七八 ^{佛電}	一〇一、二七六 ^{佛電}
眞谷地	同	一六、八三一	一七、〇一八
新夕張	同	二七、六六四	三〇、〇五六
空知	同	一七、三九二	一九、四六〇
幾春別	同	七、九九九	八、二九九
幌內	同	一九、一二三	一九、五三九
奔別	同	九、九四三	八、六八七
三井登川	同	一六、〇八五	一五、七八八
大夕張	同	七、四五八	八、二八一
三菱美唄	同	二九、九九六	二〇、二六六
入山	福島	二八、〇九四	五三、六四三

小野田	同	二一、一三六	二〇、九五二
內郷	同	四二、八七一	四二、一九七
王城	同	七、〇三〇	四、八四〇
好間	同	二五、四〇三	二六、五三三
隅田川	同	八、二一七	六、三〇六
平	同	五、一八二	四、六五二
茨城無煙	茨城	一五、七三七	一六、五八五
重內	同	七、二三六	九、三〇四
山口無煙	山口	七、六八五	五、一九六
茨城	茨城	一五、〇五七	一一、九二五
千代田舊姓（清田）同	同	四、五六二	四、五八四
松浦	長崎	六、六三六	四、九五二
高島	同	一九、一八七	一六、一四八
松島	同	二六、七七二	二五、〇一四
崎戸	同	三一、九二二	二六、〇九四
香燒	同	三、五二四	二、五二五
福島	同	七、七二八	九、〇八三
沖ノ山	山口	二九、五九四	二二、八九八
大嶺海軍	同	五、四九六	四、九八九
東見初	同	一九、一五四	七、四七六
大正	福岡	二、二八七	五、六一五
大辻	同	二三、三五二	三一、八八二
高江	同	二〇、〇五六	一四、〇五三
新海軍	同	七、三五〇	一一、三七〇
新原	同	三二、八〇一	二八、二〇一
岩崎	同	八、五八三	一〇、七七二

御	新	三	大	明	三	鹽	木	金	大	赤	三	峰	豐	二	忠	上	鯨	豆	三	芳	下	三	方	中	大
德	入	好	之	治	井	頭	屋	田	峯	池	井	地	國	瀨	限	山	田	田	井	賀	山	池	城	鶴	限
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
七、七五〇	三六、七三五	七、六二〇	七五、五〇九	四三、七七六	一八、三九〇	四一、〇〇五	一四、三三七	二三、五五八	二五、九六一	一二、二六三	八九、一七三	五四、二八八	四四、七一八	六五、八三二	三一、〇三二	一八、五八三	四五、六九二	一八、八一四	三五、七七四	二六、九〇九	一一、一四六	一八五、五六四	一九、九三二	一三、三〇九	一一、九三四
一〇、九〇七	三四、五二三	六、五一二	七三、三五八	三九、二六五	一八、六〇八	三九、六一八	一〇、八四二	六、一二〇	一九、八一二	九、九一一	八八、五〇四	四七、八四八	四六、四五一	五〇、六五五	三五、八〇二	一六、九一一	三八、一四五	一〇、四三一	三四、〇二四	二三、八六七	一三、〇二一	一六五、四一九	二二、八四七	一二、六四一	六、五六四

高	高	龜	旭	三	泉	平	野	宇	新	姪	福	杵	相	芳	杵	岩	久
松	田	山	笠	笠	水	山	田	美	目	濱	岡	島	知	谷	島	屋	原
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	佐	同	同	同	同	同
四、五九四	五、七〇三	八、〇三八	一二、七七三	五、六六〇	六、五三二	八、一八一	四、一五六	三、三二四	四、七七五	一三、四四八	一三、三五七	九、九三二	四〇、一二三	四五、一八三	五〇、〇三一	一九、九五七	五、五五八
七、五八五	五、二二九	六、八二八	六、四五八	七、〇六二	五、五六七	八、七二六	五、八九六	五、一六六	三、八三二	一一、三三三	七、四八〇	八、七二九	二五、三五六	三九、一四一	二九、二四二	一七、五九二	五、一一九